

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名	大野市
所属名	健康長寿課

※「介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き（平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課）」の自己評価シートをもとに作成

第9期介護保険事業計画に記載の内容				R6年度（年度末実績）		
区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
①	・閉じこもりがちな高齢者が増加しており、交流の場の必要性が高まっている。 ・社会参加を促し、健康づくりなどの介護予防が行える身近な場所の確保が必要。	・ふれあいサロンの実施	ふれあいサロンの実施箇所及び参加人数 R6 R7 R8 ・実施箇所(箇所) 70 70 70 ・延べ参加人数 13,860 13,860 13,860 (人)	・実施箇所数 62箇所 ・延べ参加人数 11,408人 参考:その他の通いの場 ・実施箇所数 23箇所	○	・高齢者が集うサロンにおいて、意図的な介護予防の取り組みとして、ご当地体操の普及を図っているが、今後も運動を継続する取り組みを増やす必要がある。 ・今後は、新規参加人数の推移を調査し、サロンの普及と介護予防の取り組みを図る。 ・通いの場が多様化し、ふれあいサロン以外の団体も増えており、支援を続ける必要がある。
①	・認知症の方やその家族が地域で自分らしく暮らし続けられるよう、正しい知識の普及と理解を深める必要がある。	・認知症サポーター等養成事業の実施 ・認知症カフェの実施	認知症サポーター等養成事業 R6 R7 R8 ・延べ参加人数 180 180 180 (人) 認知症カフェ R6 R7 R8 ・延べ参加人数 450 450 450 (人)	・認知症サポーター等養成事業 延べ参加人数 196人 ・認知症カフェ 延べ参加人数 684人	○	・認知症予防と早期発見・早期対応を図るため、地域での見守りや相談体制など認知症の方とその家族への支援体制の更なる強化が必要。
②	・ケアマネジメントについて、事業所内外でのケース検討は行っているが、利用者の自立支援に資するケアプランの作成や困難事例への対応に苦慮している。	・地域ケア会議の推進 ・ケアプラン点検を実施	ケアプラン点検の実施 R6 R7 R8 ・点検数（件） 100 100 100	・ケアプランの点検数 45件	○	・事業所への負担軽減の観点から点検事業者を半数ずつとしたため、点検数は目標に達していないが、地域包括支援センター職員が点検することでスキル向上を図った。 ・困難事例への対応で手一杯のケアマネジャーが多く、自立支援に目を向けたプランの作成に至っていないため、今後も地域ケア会議及びケアプラン点検を継続する。